

繊維が絡み流亡を軽減！ 被覆効果で乾燥を軽減！

国内針葉樹皮  
マルチング材

# モスマルチ



モスマルチは、国内産針葉樹の樹皮を繊維状にした新しいタイプのマルチング材です。緑地帯や法面など幅広い場面の被覆に、すぐれた特性と装飾効果を発揮します。

## 特長と効果

- 1. 自然な景観を演出します。**  
 天然素材である国内産針葉樹の樹皮が原料です。このため、仕上がりが自然で美しく、施工直後から鑑賞できます。
- 2. 長期にわたり被覆効果が持続します。**  
 炭素率及びリグニン含量が高いため、分解はきわめて緩やか。装飾効果が長期間持続し、ランニングコストも軽減できます。
- 3. エロージョン（流亡）を軽減します。**  
 繊維質がからみ合っているため、のり面施工でも被覆状態をしっかりと維持。雨による土壌の流亡や風による飛散も受けにくい資材です。
- 4. 土中水分の蒸散を軽減します。**  
 保水性、排水性の相反する性質を兼ね備えています。このため、ほどよい緩衝機能を発揮し土中水分のバランスも安定。蒸散や乾燥を防ぎます。
- 5. 除草作業が軽減できます。**  
 飛来してきた一年生雑草種子の発芽を抑制します。このため、除草作業が軽減でき、美しい景観が保たれます。
- 6. きわめて軽量です。**  
 比重は約0.2ときわめて軽量。運搬や施工時の作業効率も大幅にアップし、能率のよい施工を行うことができます。

## 分析表

項目	分析値(%)
水分 (H <sub>2</sub> O)	54.88
窒素全量 (N)	0.25
りん酸全量 (P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> )	0.04
加里全量 (K <sub>2</sub> O)	0.06
有機炭素 (C)	20.80
炭素率	83.2
リグニン	19.68
pH(乾物相当量 1:10, 20℃)	5.9

(財)日本肥糧検定協会  
 (分析・試験証明 第5-1,126号/平成5年10月)

## 除草作業の比較 10m<sup>2</sup>当り

	モスマルチ40g/m <sup>2</sup>	無処理区
A 区	17.5分	84.0分
B 区	14.0分	101.0分
C 区	12.0分	82.0分
平均	14.5分	89.0分

●試験方法：地被植物のポット苗の植付け(9株/m<sup>2</sup>)をして、6カ月経過後、手取りによる除草を行った。



施工方法

施工の手順



●事前に雑草や礫などを除去する。  
●土の表面を平らによくならす。

●モスマルチをすき間なく均一に敷きならす。

●モスマルチを安定させるために手作業で転圧をかける。

●散水すればさらに安定する。

使用量の目安

1袋……80ℓ

1袋(80ℓ)当りの施工面積	使用量	40ℓ/m <sup>2</sup>	50ℓ/m <sup>2</sup>	60ℓ/m <sup>2</sup>	70ℓ/m <sup>2</sup>	80ℓ/m <sup>2</sup>
	面積	2.0m <sup>2</sup>	1.6m <sup>2</sup>	1.33m <sup>2</sup>	1.14m <sup>2</sup>	1.0m <sup>2</sup>

施工上の注意

- 本材は材質が樹皮のため、タバコの投げ捨てなどで燃えることがあります。万一の捨て火が予想される場所での使用は避けてください。
- 本材を敷きならした後は必ず転圧を行ってください。転圧した場合、厚さが変化します。
- 使用量は、容量(ℓ/m<sup>2</sup>)による積算にて使用してください。
- 本材を被覆しても宿根性雑草は十分に抑制できません。宿根草の多い施工地では、使用を避けるか、あらかじめ除草剤散布や伐根作業を十分行ってから使用してください。

モスマルチの施工例



のり面にアイビーを植栽後、マルチした施工。急斜面にもかかわらず土壌流亡もなく、アイビーによる被覆が完成しました。

エロージョン(流亡)軽減の施工例



斜面の人工地盤にオカメザサを植栽後、マルチした施工。流亡軽減効果に加え、蒸散軽減、景観向上などの付加価値が得られました。



モウソウチク植栽後のマルチ例。土中水分が適度に保たれ、乾燥による害もなく生育も順調に進みました。

蒸散軽減の施工例



アジサイ移植後のマルチ例。モスマルチの特性のひとつである温度緩衝作用も働き、活着も良好でした。



コニファー公園での植付後のマルチ例。モスマルチの落ち着いたブラウンの色合いは、自然さとやすらぎを与えてくれます。

景観向上の施工例



植込みの下まわりでのマルチ例。どのような場所にもマッチする色合いと共に、樹木の生育にも好ましい環境をつくります。

●販売元

**MBC 丸和バイオケミカル株式会社**

本社 / 〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-5-2 ☎03(5296)2326  
 大阪支店 / 〒531-0071 大阪府北区中津1-11-11 中津第一リッチビル ☎06(6371)3145  
 名古屋営業所 / 〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-8-10 ISH丸の内ビル ☎052(951)7234  
 札幌 / ☎011(222)1285 仙台 / ☎022(261)1103 福岡 / ☎092(714)7101

●お求めは